

科目ナンバー： BC3112

授業コード： 2230301100

講義科目名称： 地域・在宅看護論Ⅱ

英文科目名称： Community & Home Health NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎関睦美、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎関 睦美 久保野 裕子 実務経験のある教員が担当します。	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 301 共同研究室2	【メールアドレス】 museki@niigata-cn.ac.jp kubono@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程			
	【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】 ○	【DP4】 ○
				【DP5】 ○
				【DP6】
				【DP7】

到達目標	1. 看護が提供される多様な場を理解し、地域の人々の健康を守るための多職種連携・協働について説明できる。 2. 地域における人々の健康支援の方法と看護技術について説明できる。 3. 退院支援および訪問看護の提供方法と看護師の役割について説明できる。 4. 個人の尊厳を尊重し、地域の人々の自己決定および意思決定を支援する看護のあり方について説明できる。
------	---

授業概要	地域における多様な看護の実践と、多職種との連携・協働について理解を深める。また、地域で生活する人々の健康課題を捉える方法を学び、健康な人および疾病を持つ人のセルフケア能力を高めるための支援方法として、健康相談や健康教育の基本的な考え方と方法を理解する。さらに、地域で療養する人とその家族が安心して生活を続けられるように支援する訪問看護の提供方法と役割、ならびに意思決定支援について学ぶ。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護が提供される多様な場における多職種連携 学修内容：コースガイダンス 看護が提供される多様な場、多職種連携 事前学修：サービス付き高齢者向け住宅および住宅型有料老人ホームについて、どのような特徴をもつ「すまい」であるか調べ、要点をまとめておく。 事後学修：授業内容を振り返り、次回の事例検討に向けて、各専門職の役割と連携の要点を整理する。
	2	備考：関 授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：地域の人々の健康を支える多職種連携と協働 学修内容：多職種との連携・協働の実践 各専門職の役割と連携の要点 グループ発表（事例を通じた連携・協働の検討） 事前学修：テキストP164の事例を読み、事例の内容を理解しておく。 事後学修：第1回授業およびグループワークを振り返り、多職種連携・協働における看護師の役割についてレポートを作成する。
	3	備考：関 授業内容 授業形態：講義・グループワーク 学修課題：地域の人々のセルフケア支援 学修内容：健康相談 対人支援技術 健康支援の検討 事前学修：テキストP20-21を読み、内容を理解しておく。 事後学修：セルフケア力を引き出すための健康相談について自分の考えをまとめる。 備考：久保野
	4	授業内容 授業形態：講義・グループワーク 学修課題：地域の人々のセルフケア支援

	学修内容：セルフケア能力を高める理論 保健指導 対人支援技術 健康支援の検討 事前学修：テキストP20-21を読み、内容を理解しておく。 事後学修：セルフケア力を引き出すための保健指導について自分の考えをまとめる。 備考：久保野 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：継続看護の必要性和機能 学修内容：退院支援および退院調整の目的とプロセス 医療機関と地域をつなぐ看護の役割 退院支援の実践事例と多職種連携の実際 事前学修：テキストP153「療養の場の移行期の看護」読み、内容を理解しておく。 事後学修：講義内容を振り返り、退院支援において看護職が果たす役割や他職種との連携の重要性について、自分の考えをまとめる。 6 備考：関 授業内容 授業形態：講義 学修課題：訪問看護の必要性和役割を理解する 学修内容：訪問看護の目的と機能 訪問看護の対象とサービス内容 地域での看護実践 事前学修：テキストP183～187「訪問看護の制度の歩み」「訪問看護の対象者の特徴」を読み、内容を理解しておく。 事後学修：講義内容を振り返り、訪問看護における看護職の役割と必要性について、自分の考えをまとめる。 7 備考：ゲスト 授業内容 授業形態：講義 学修課題：訪問看護に関する法律と制度 学修内容：訪問看護の仕組みと提供方法 訪問看護ステーションの設置基準 医療保険および介護保険における訪問看護の利用方法と手続き 事前学修：介護保険制度の概要を復習し、どこカレ：地域・在宅看護論Ⅱ（2026年）、【第7回】、事前学習【復習】介護保険制度についてに回答する。 事後学修：講義内容を振り返り、訪問看護が介護保険制度および医療保険制度の中でどのように位置づけられているかをまとめる。 8 備考：関 授業内容 授業形態：講義 学修課題：個人の尊厳と意思決定支援 学修内容：個人の尊厳と人権の尊重 自己決定支援の考え方とその方法 個人情報保護と倫理的配慮 事前学修：テキストP207「権利保障に関する制度」を読み、内容を理解しておく。 事後学修：講義内容を振り返り、「尊厳を尊重する支援」や「意思決定支援における看護職の役割」について、自分の考えをまとめる。 備考：関
評価方法、評価基準	到達目標1～4に対して、試験90%により評価する。 到達目標1に対して、レポート10%により評価する。
必携図書	河原加代子（2022）：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤，第6版，医学書院.
参考図書・資料等	参考図書は授業時に紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前連絡をする。 出席確認は、どこカレを使用する。出席が確認できない場合や20分以上の遅刻・途中退室は欠席とみなす。 資料は授業開始時に配付する。欠席した場合は、授業1週間後までに授業資料を取りにくること。
教員からのメッセージ	既習内容と結びつけて学習を進めて下さい。また、授業は皆さんとディスカッションし進めますので、積極的な学習態度を期待します。
オフィスアワー	随時（メールで調整）